

2003年3月期決算説明資料

2003. 5. 9

03年3月期決算概要(その1)

経常収益は前年の6倍、当期純損失は前年比3割減。

損益状況

(単位未満は切り捨て表示)

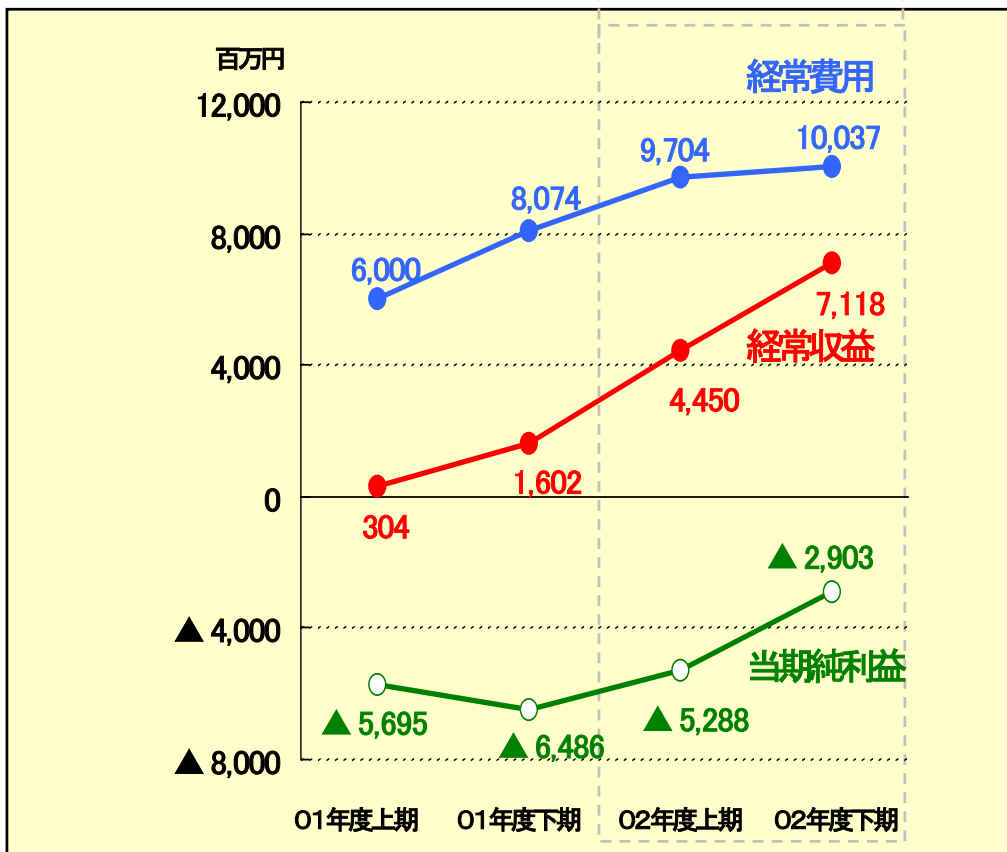
【ご参考】

	01年度	02年度	対前期増減率
経常収益	1,906百万円	11,568百万円	+506%
経常費用	14,074百万円	19,741百万円	+40%
経常利益	▲12,168百万円	▲8,173百万円	—
当期純利益	▲12,181百万円	▲8,191百万円	—

中間決算発表時 (02年11月8日) の見通し
11,800百万円
20,060百万円
▲8,260百万円
▲8,300百万円

期末ATM台数	3,657台	5,250台	+43%
年間総利用件数	14百万件	72百万件	+414%

【半期毎の損益推移】 金額単位:百万円



03年3月期決算概要(その2)

財務状況

単位：百万円（単位未満は切り捨て表示）

貸借対照表(03年3月末)

<p>現金 84,201</p> <p>預け金 30,004</p> <p>有価証券 22,605</p> <p>仮払金等 12,881</p> <p>ソフトウェア 9,522</p> <p>動産不動産 744</p> <p>貸倒引当金 ▲31</p>	<p>預金(個人) 14,680</p> <p>預金(法人) 61,227</p> <p>譲渡性預金 40,000</p>	<p>その他負債 3,278</p> <p>賞与引当金 82</p>	<p>総負債 119,269</p> <p>株主資本 40,658</p>		
	<p>資本金 61,000</p> <p>利益剰余金 ▲20,372</p> <p>株式等評価差額金 31</p>				
	<p>総資産 159,928</p>			<p>自己資本比率(国内基準) 221.39% (速報ベース)</p>	

ご参考

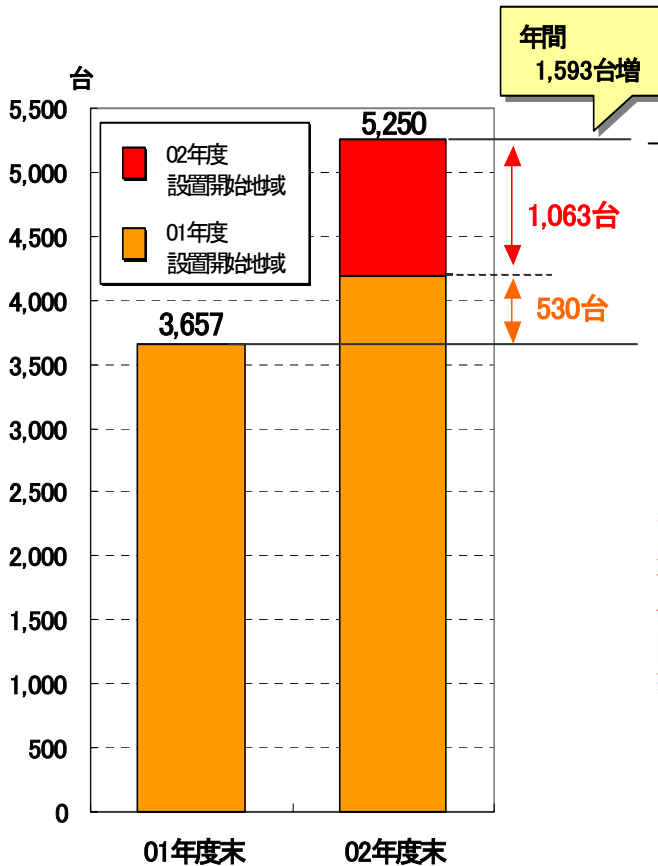
【総資産額推移】

	01年9月末	02年3月末	02年9月末	03年3月末
総資産額	59,135百万円	127,472百万円	143,278百万円	159,928百万円

ATMネットワークの展開状況

1府5県に新規展開し、設置地域は計13都府県に拡大。
既存地域への設置を合わせ、計5,250台のATMネットワークを構築。

ATM設置台数推移と地域



設置地域と台数

都府県名	設置開始月	01年度末台数	02年度末台数	カッコ内は02年度設置
東京都	01年 5月	1,155	1,300	(145)
静岡県	01年 6月	337	371	(34)
埼玉県	01年 6月	655	697	(42)
大阪府	01年 7月	189	301	(112)
兵庫県	01年 7月	123	191	(68)
神奈川県	02年 1月	685	756	(71)
千葉県	02年 2月	513	571	(58)
栃木県	02年 5月		269	
愛知県	02年 12月		74	
京都府	02年 12月		99	
長野県	03年 2月		176	
滋賀県	03年 2月		111	
福岡県	03年 3月		334	
合計		3,657台	5,250台	

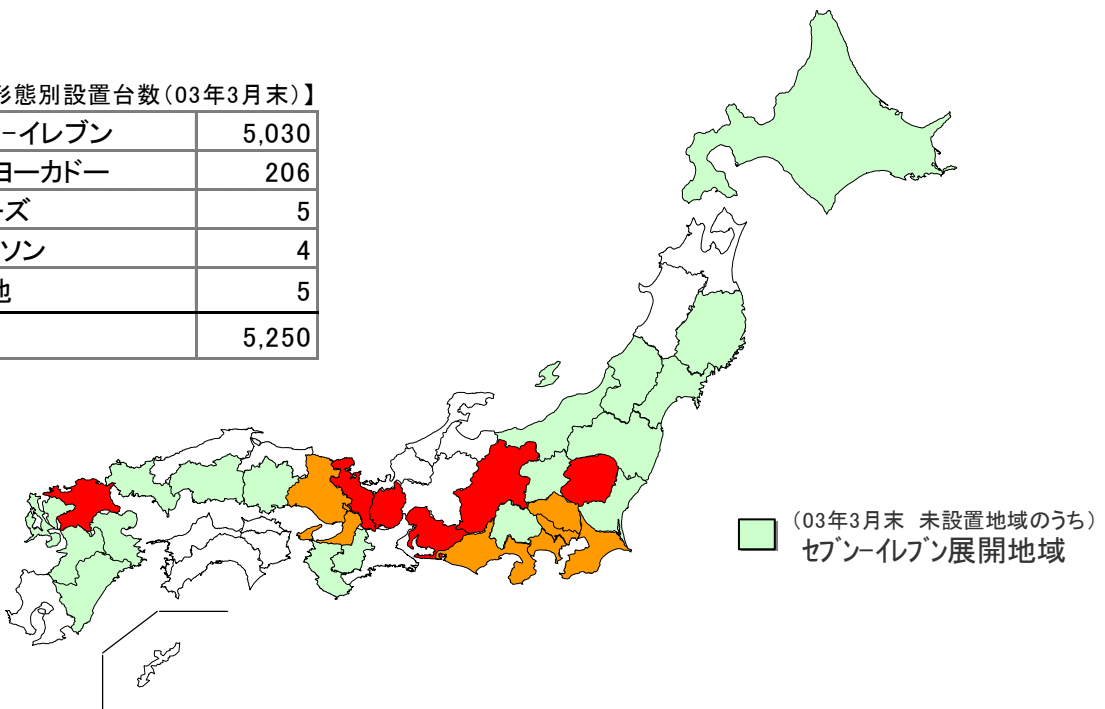
01年度設置開始

02年度設置開始

カッコ内は02年度設置

【店舗形態別設置台数(03年3月末)】

セブン-イレブン	5,030
イトーヨーカドー	206
デニーズ	5
ロビンソン	4
本店他	5
合計	5,250



ATM提携の拡大

銀行7行、その他金融機関31社 計38社と新規提携、提携金融機関は48社。
 その他金融機関においても出金に加え、入金サービスとしての利便性を提供。

提携金融機関一覧

<03年3月末時点>

	01年度 提携先	02年度 新規提携先		
	提携先名	提携先名	主なサービス内容	
			出金	入金
銀行	UFJ銀行 りそな銀行・埼玉りそな銀行※1 三井住友銀行 静岡銀行 横浜銀行 千葉銀行 新生銀行	東京三菱銀行	○	—
		足利銀行	○	○
		京都銀行	○	○
		スルガ銀行	○	○
		八十二銀行	○	○
		滋賀銀行	○	○
		福岡銀行	○	○
		—	—	—
証券会社	野村証券 日興コーディアル証券	—	—	—
生命保険会社	—	第一生命	○	—
		住友生命	○	○
		三井生命	○	○
		太陽生命	○	○
クレジットカード会社 信販会社 消費者金融会社	—	アイワイ・カード・サービス	○	○
		ジェーシービー	○	○
		三井住友カード	○	○
		ユーシーカード	○	○
		ディーシーカード	○	○
		アメリカン・エクスプレス	○	—
		協同クレジットサービス	○	—
		シティコブダイナースクラブジャパン	○	○
		オリентコーポレーション	○	—
		オリックス・クレジット	○	○
		ジャックス	○	○※2
		セントラルファイナンス	○	—
		ライフ	○	—
		国内信販	○	—
		ジーシー	○	—
		ポケットカード	○	—
		丸井	○	—
		ゼロファースト	○	—
		トヨタファイナンス(ティーエスキュービック)	○	○
		武富士	○	○
		アコム	○	○
		プロミス	○	○
		アイフル	○	○
GEコンシューマー・クレジット(ほのぼのレイク)	○	○		
CFJ(アイク、ディック)	○	○		
三洋信販(ポケットバンク)	○	○		
東京三菱キャッシュワン	○	○		
合計	10 社	38 社		
BANCS加盟銀行	みずほ銀行			

(※1)旧あさひ銀行と01年度に提携。
 (※2)ジャックスの入金は4月21日開始。

ATMの利用促進策

IYグループや提携金融機関と連携し、積極的な利用促進活動を実施。

取り組み事例

【TVCM(セブン-イレブン・ジャパン、02年12月実施)】



【電車中吊りポスター(02年12月実施)】



【提携金融機関との共同告知(福岡銀行本店、03年2月末~3月)】



【ATM周りの対応(02年秋~)】



ATM用
新型ブースの設置

ATM画面表示の改善
(利用時間の表示)

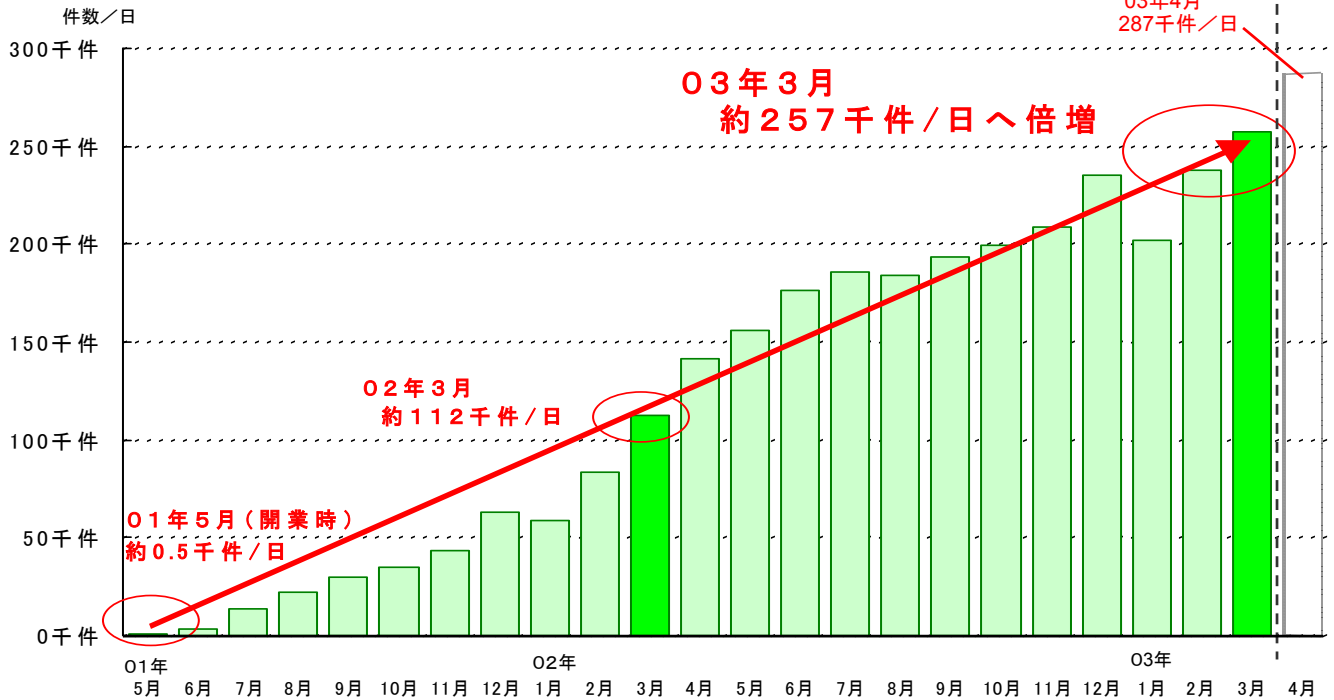


ATMの利用状況(その1)

お客さまの認知度は向上し、台数の増加以上に利用件数は増加。
利用ピーク日は各地域で70件を超えるATMが着実に増加。

月ごとの1日あたり平均総利用件数

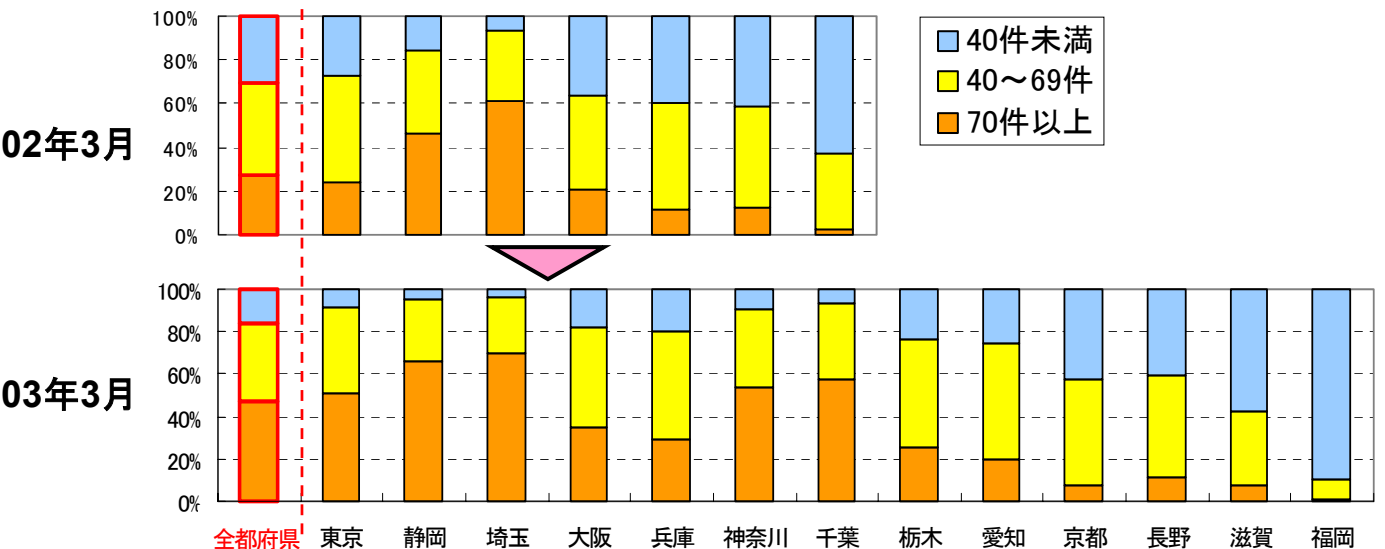
(入金・出金・振込件数計。残高照会は含まず)



利用ピーク日※におけるATM利用状況

※25日(休日の場合はその直前の銀行営業日)

設置台数に占める件数別台数の比率 (入金・出金・振込件数計。残高照会は含まず)



【ご参考】 1日1台あたり平均件数

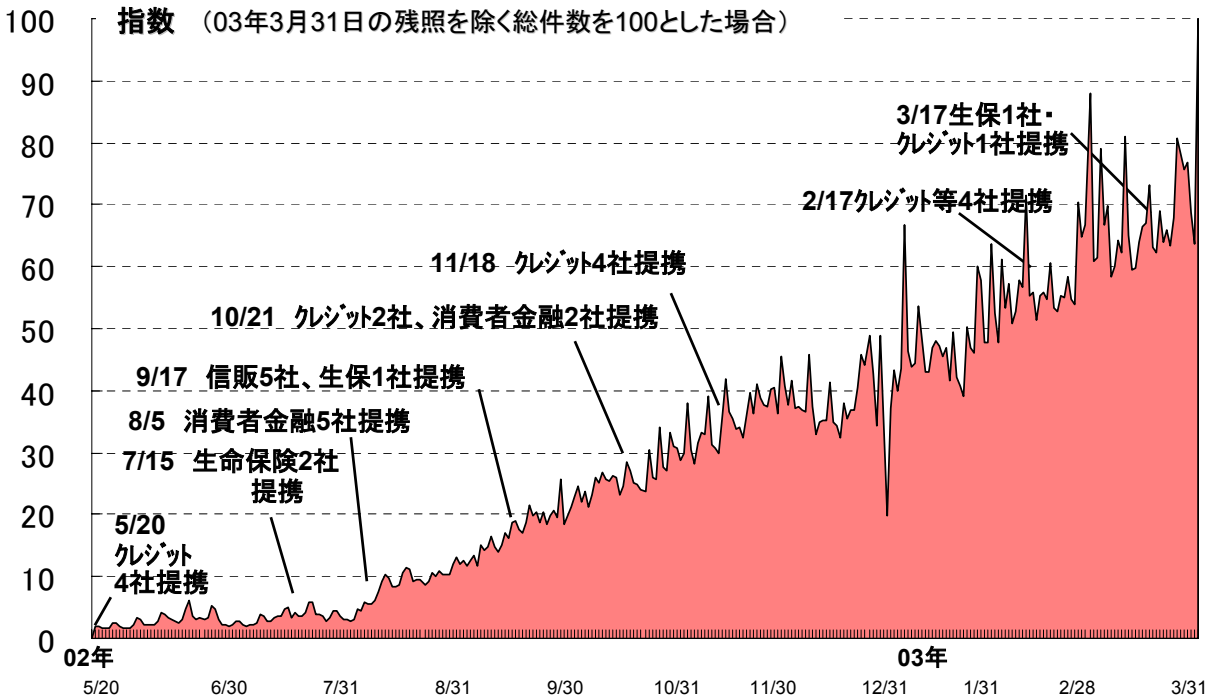
	02年3月	03年3月	(03年4月)
月間平均	約 34 件	約 52 件	(約 54 件)
利用ピーク日(25日)	57.8 件	73.5 件	(90.5件)

ATMの利用状況(その2)

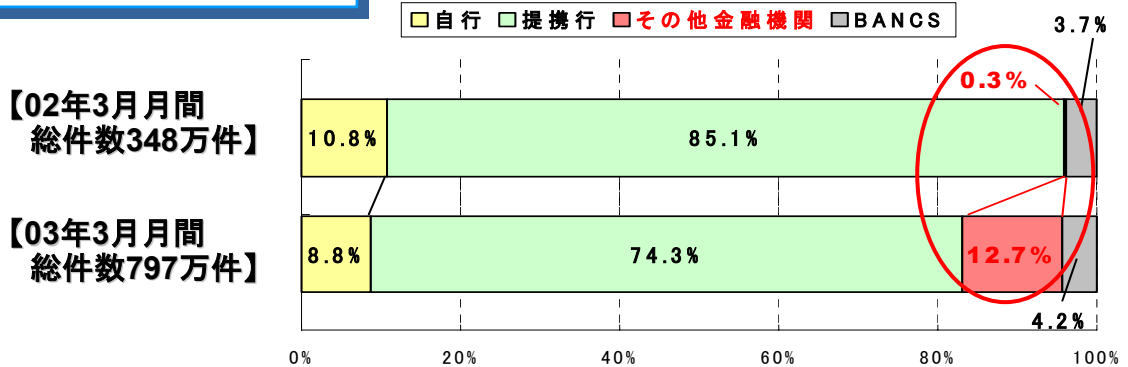
その他金融機関※31社と新規提携し、利用件数は着実に増加。

※ 証券、生保、クレジット、信販、消費者金融各社

その他金融機関の総件数推移



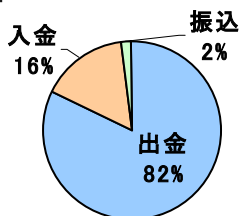
業態別 利用件数内訳



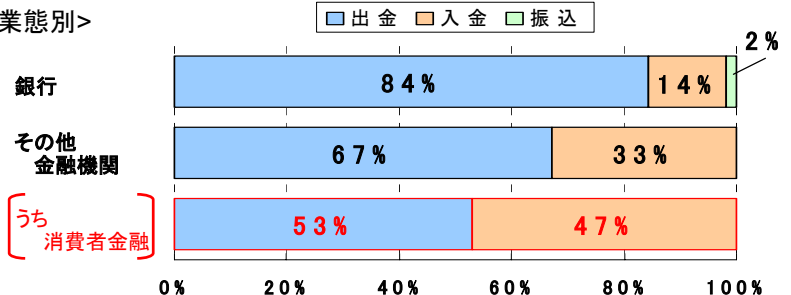
ご参考

【サービス別 利用件数内訳(03年3月月間)】

<全体>



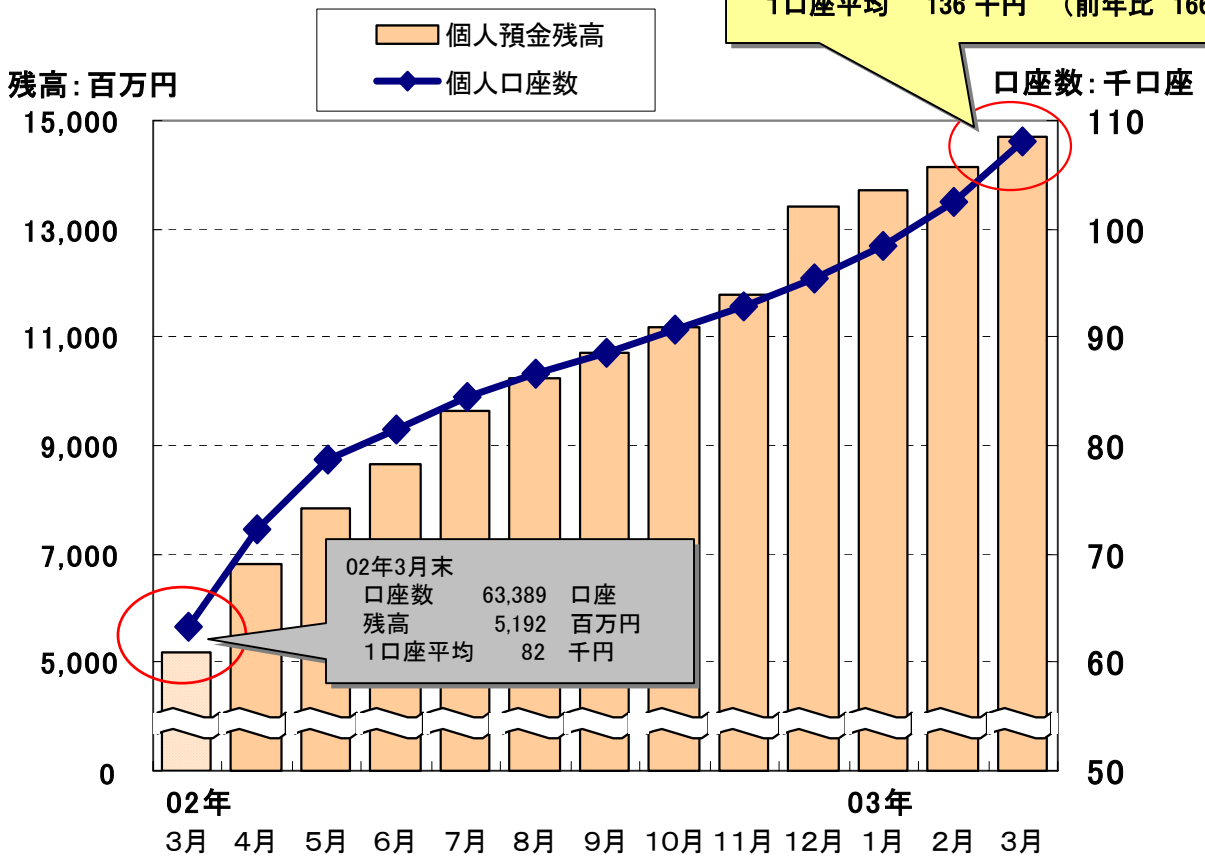
<業態別>



普通預金口座(個人)の状況

口座数・残高は順調に増加。残高は前年度末の約3倍。

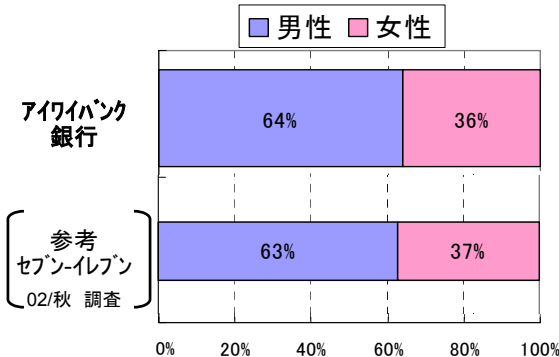
口座数・残高の推移(各月末数値)



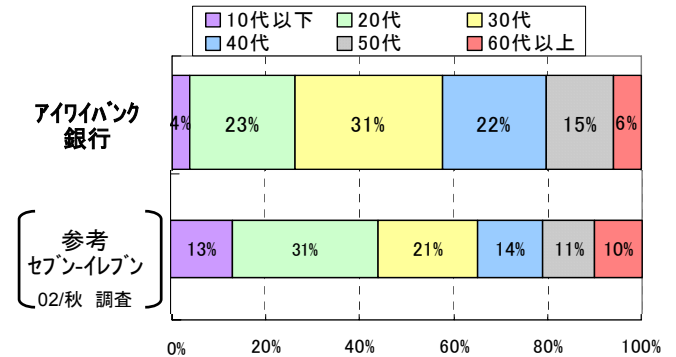
ご参考

03年3月末 普通預金(個人)口座内訳

【男女構成比】



【年代構成比】



03年度の取り組み

ATMは、約1,500台を設置、年度末には合計約6,800台を展開予定。
郵便貯金・信用金庫をはじめ提携先の拡大を継続。
また、一般事業会社の売上金入金サービスを開始。

ATMネットワーク拡充の継続

既展開地域【密度の向上】	03年度予定 展開地域
東京都・静岡県・埼玉県・大阪府 兵庫県・神奈川県・千葉県 (以上 01年度設置開始) 栃木県・愛知県・京都府・長野県 滋賀県・福岡県 (以上 02年度設置開始)	茨城県 福島県 中国・九州地方 他
03年度 新規設置 約1,500台	

⇒ 04年3月末
ATM台数
約6,800台へ

03年度 総件数
124百万件へ
(02年度 72百万件)

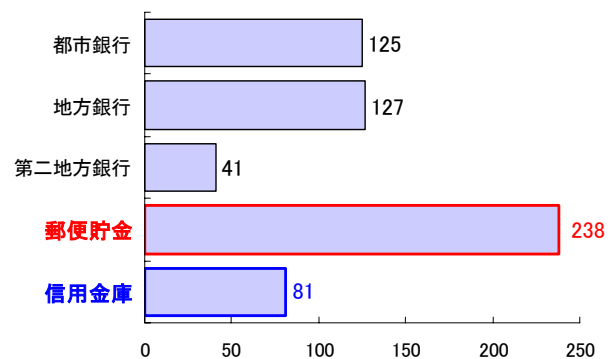
金融機関との更なる提携拡大

<03年4月以降の提携先*一覧> ()内は提携開始予定時期。

武蔵野銀行	[4月21日提携開始]
モビット	(5月)
郵便貯金	(5月)
信用金庫	(7月)
常陽銀行	(7月)
東邦銀行	(年内)
東京都民銀行	(04年4月迄に)

※5月9日時点で対外公表済の金融機関。

【ご参考】 個人預金残高比較 (02年3月末) 単位:兆円



資料出所: 日本銀行「金融経済統計」、郵便貯金ホームページ

新たな金融サービスの導入

売上金入金サービスの一般事業会社への提供(03年度上期中サービス開始予定)。

03年度は02年度に引き続き「事業基盤の拡充」に注力

03年度の取り組み

- ATMネットワーク拡充の継続
- 金融機関との更なる提携拡大
- 新たな金融サービスの導入

収益・費用はそれぞれ増加

台数・平均件数増による
総利用件数の大幅増加
(収益増)

ATMネットワーク拡充による
ATM投資・運営費用の増加
(費用増)

03年度見込

黒字化に向け最大限努力するものの、年間損益赤字は残る見込み。

(単位未満は切り捨て表示)

	01年度実績	02年度実績	03年度見込
経常収益	1,906百万円	11,568百万円	21,300百万円
経常費用	14,074百万円	19,741百万円	25,300百万円
当期純利益	▲12,181百万円	▲8,191百万円	▲4,000百万円

**積極的な
先行投資を継続**

収益構造の確立

早期黒字化の実現へ